被災者支援や商店街活性化

探究学習の成果発表

高校生と大学生

高校生と大学生が地域課題の解決方法を探る「探究学習」の成果発表会が5月28日、総社市窪木の県立大で開かれた。

県立大で開かれた探究学習の成果発表会

地域に貢献できる人材育成につなげようと2020年度から実施しており、今回が3回目。子どもの居場所づくりや災害時の被災者支援の在り方、地元商店街の活性化などをテーマに、同大3年生と県内の高校6校による計19グループがそれぞれの活動成果をポスターにまとめて発表した。

このうち、大学生グループ「おむすび」は、岡山市の子ども食堂や総社市の市民団体と連携して稲刈り体験などを行った様子を写真を交えて説明。メンバーの保健福祉学部3年戸田帆南さん(21)は「ひとり親や高齢者世帯では食への関心が低いケースがあった。活動を通じて食と農のつながりを実感してもらえ、自分たちの勉強にもなった」と話していた。

(久万真毅)

(C) 山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。

2022年6月2日 山陽新聞朝刊 24ページ